

medicine bags for printer

インサータ薬袋

■ 機械打ち出しに対応した、薬袋です。



表示誤りの防止に・処方の効率化 ダイレクトプリント

市販されているインクジェットプリンター、レーザープリンターで薬袋に印刷することができます。

従来の薬袋のように裏面に糊しろの重なりが無いためプリンターの紙詰まりが起りにくいように作られており、印刷時はスムーズにプリントすることができます。

従来の手書きで名前や処方を書いたり、ラベルに打ち出して貼付する方法と比較して、時間と労力を大幅に削減することができます。

直接薬袋に出力することで、きれいな仕上がりとなりラベル貼付ミスを防ぐことができます。

処方する薬や、飲む時間に応じた色で背景を印刷する等、さまざまな応用も可能になり、患者さまに解りやすい、オリジナルの薬袋をご提供することも可能となります。裏面にも印字できるため広告スペースを設けることも可能で、病院イメージの向上にもオススメできる製品です。

応用例



左の図①②のように処方する薬や、飲む時間により、印刷する薬袋そのものの色も変えることで、より解りやすく処方でき、誤飲などの事故を防ぐ効果もあります。

また薬袋③自体に処方する薬の説明をプリントしさらに解りやすい薬袋にする事も可能です。

三條NEWS～識別コードの現状～

病院などで、投薬ミス防止や品質管理を目的としてバーコードを用いるシステムが多く使われるようになってきました。

また公共料金をバーコードのついた払込票を用いてコンビニで支払う……このような光景も今では当たり前の光景となりましたが、こういった払込票に使われているEAN128バーコードには、実に40文字以上がひとつのバーコードに格納されています。また、携帯電話からのウェブアクセスで広く普及しているQRコードには、更に多くの文字・文字種を格納できます。

これも印字技術の向上と読取機器の精度の向上によるところが大きく、使用できる文字種・文字数の拡大は、このようなシ

ステムの可能性を大きく広げました。

また市販品に印刷されているJANバーコードも、国際的には次世代のGS1データバーへの移行が取りざたされています。これはJANの代替であるだけでなく、様々な属性情報をバーコードに持たせることで、トレーサビリティという点でも更なる革新をもたらす可能性を持っています。

弊社では、こういった大きな可能性を持った分野にも積極的に取り組み、本業である印刷と有機的に結びつけた付加価値の高い製品をこれからも追求していきます。



sanjo

三條印刷株式会社

TEL(011)742-2769 FAX(011)702-8197

〒065-0010札幌市東区北10条東13丁目14

E-mail・URLからもアクセスできます E-mail:sanjo@ssjoo.com http://ssjoo.com

ご紹介いたしました商品やアルティザンのバックナンバーに関してのお問い合わせは三條印刷営業部までお問い合わせ下さい。